

浜嶋です。
こんにちは。

豊中2団のHPを見ていただいていたでしょうか。

BVS隊の舎営のプロセスを7月5日から掲載してきました。

掲載に当たっては、下村隊長に毎回確認してもらって掲載しています。スカウトに楽しさを殺される情報提供をしないということを確認するためです。

昨日、創作本の「まこと君と舎営に行こう」(完成版)を掲載して、舎営の連載を終了しました。

舎営報告の画像を引用しています。内容は、実際の活動とはやや異なっています。

さて、今回は、連載について連絡した相手は、2団関係者とほくせつ地区の総務委員会メンバー(26名)です。

アクセス数と増加数は、以下のように、約1ヶ月で全体で648件の増加です。

私は、データで確認していますのでほとんどカウントを上げていません。

- ・ 7月 7日朝 762件(547件)
- ・ 7月29日朝 1,309件(37件)
- ・ 7月31日朝 1,346件(64件)
- ・ 8月 5日朝 1,410件

この数は、お知らせした当日のアクセスが増えています。でも、数は関係なく、これを見て楽しんでもらえたかどうか重要です。

BVS隊のスカウトは、気持ちを高ぶらせて舎営に参加してくれました。本の中では、祖父母と連絡して家族が楽しむ様子をイメージしています。

少なくとも家族では楽しんでもらえたと思います。舎営に行って、スカウトから「WANTED」の質問がありました。期待感が伝わって楽しかったです。

わっぱるの所長にお願いして、「WANTED」のチラシを本当のようにスカウトに説明してもらいました。

所長は「おもしろい」と言って、閉村式のときに実施しましたかとスカウトに聞いていました。

こうした効果もあり、参加しない人でも、外部の人でも楽しんでもらえればうれしいです。

HPの報告は終わってからの掲載がほとんどです。それでは、わくわく感が生まれません。

本を読む時のように、次は何が起きるかを期待できる情報提供ができれば、面白い情報提供方法だと思っています。

これが可能なHPによるプロセスの発信を随時行えば、ボーイスカウト関係者や一般の人が見てくれるようになると信じています。

これがHPによる2団のPRになります。発信内容を工夫してアクセスする人を増やしたいという狙いです。

団メールで隊集会の活動報告してもらっています。これは団の中での情報共有です。この場合の内容にボーイスカウトが教育活動であることを意識しないと隊指導者の意気込みと意義は伝わりません。

すばらしい情報発信を目指せば、それを外部の人にも伝えたいです。

たとえば、VS隊の大型構築物の通信塔構築の流れも長期的な構想の掲載を計画的にできたら関心を集めると思います。ほくせつ地区のみならず大阪連盟のVS隊のスカウトや指導者からもアクセスがあったかもしれません。

CS隊でスカウト祭の出しものを3か月準備するならば、どのようなスケジュールで準備するかを連載すれば、プロセスが分かって面白い。地区のRTで公表すれば、アクセス数は増えてきます。

BVS隊は、残念ながらRTに連絡を忘れていましたね。今からでも連絡してほしいですね。情報が見えなくなっていくますからね。

「2団は、面白い情報発信をしているぞ」という認識をほくせつ地区に広げましょう。大阪連盟や日本連盟にも伝わると思います。

団だけでなく、各隊の活動報告をこのような方法で五月雨式に行えば、いつもどこかの隊の情報発信が掲載されている状況になります。もちろん掲載はお手伝いします。

HPは、コンテンツが話題を集めます。まず、ボーイスカウト関係者の注目を集めましょう。各RTでPRしてください。

団は、いや私は、団の予定として次は、「親子ハイク」を考えています。

HPの掲載も楽しくやりましょう。これは、隊員募集に大きな効果を上げると思います。本当に大事なことは、私たちが行っている活動をきちんと多くの人に伝えることです。きちんと伝えるために活動の計画や実施をしっかりと行うことになります。

しばらくして、質が向上したなと喜びたいですね。

おそらく、まだどこの団もしていません。私は、5年後に世界の仲間たちからアクセスが集まると思います。わくわくしますね。

血液型Bの典型的な楽観的な発想です。

とにかく楽しい。皆さんも私と一緒に楽しんでください。